

年末に犯罪や交通事故の 起きにくい社会づくりを

- ▼空き巣狙いの被害防止
 - 短時間の外出でも必ず鍵をかける。
 - 防犯カメラ、センサーライト、補助錠を設置するなど、防犯機器を活用する。
- ▼スリッパなどによる交通事故の防止
 - 急発進、急ブレーキなど「急のつく運転はしない。
 - 時間に余裕を持ち、スピードダウンと車間距離を保持する。
- ▼女性の犯罪被害防止
 - 夜間の一人歩きは避ける。
 - 人通りが多く明るい道を通る。
 - イヤホンで音楽を聴きながら歩かない。
 - 携帯電話を操作しながら歩かない。
- ▼振り込め詐欺の被害防止
 - お金を要求する電話には応じない。
 - 儲け話は信じない。

安全で安心な年末を送り、希望に満ちた新年を迎えるため、次のことに気をつけて犯罪被害や交通事故に遭わないようにしましょう。



摩周 一 一 〇 番

弟子屈警察署
所在地交番
☎482-2110
川湯駐在所
☎483-2151

自動車運転免許 更新時講習

期日／12月16日(水)
場所／町公民館

- ▶優良講習／11時30分
- ▶一般講習／13時
- ▶違反講習／9時
- ▶初回講習／14時30分

※講習は、警察署で免許更新の手続きを済ませた後に受講してください。

雪下ろし 外出前に 安全確認



例年、屋根の雪下ろし作業中の転落や屋根からの落水雪の下敷きになる事故が発生しているほか、暴風雪により尊い命を落とす被害も発生しています。

このような事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- ▼雪下ろしは複数で行いましょう。
- ▼除雪機による除雪は安全を確かめながら、行いましょう。
- ▼気象情報に注意しましょう。

北朝鮮人権侵害問題 啓発週間です

12月10日(木)～12月16日(水)

拉致容疑事案をはじめとする、北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の皆さんの関心を高めるとともに、国際社会と連携しながら北朝鮮による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止をを図ることを目的に、毎年12月10日～16日を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」としています。

飲酒運転の根絶

全国的に「飲酒運転は凶悪犯罪」という気運が高まっています。その一方で「捕まらなければ大丈夫」という危険な考えを持って、いまだにお酒を飲んで車を運転する人がいます。

お酒を飲むと、わずかな量でも運転に大きな影響を及ぼし、重大事故を起こす可能性が何倍にも高まります。

「飲んだら のれん」をキャッチフレーズに、地域全体で飲酒運転根絶気運を高めますよう。



第7回弟子屈フォトコンテスト作品募集！

一般社団法人摩周湖観光協会では、弟子屈町の魅力を全国に発信するとともに、写真文化の発展に寄与することを目的に「弟子屈フォトコンテスト」を開催します。

阿寒国立公園の約56%を占める自然豊かな本町は、これまで多くのプロ・アマチュア写真家の被写体となり、さまざまな人を魅了してきました。自然や観光、産業など、本町ならではの魅力を切り取って、あなただけの作品を応募してみませんか。

▶応募期限／12月25日(金)(消印有効)

▶テーマ

- ①「摩周湖」(摩周湖をテーマに風景や人物など)
- ②「自由」(弟子屈町を素材とした自然・観光・産業など)

▶応募作品

- フィルム作品 6 P(六つ切り)(ワイド可)
- デジタルカメラ作品 6 P(六つ切り)(ワイド可)、またはA4サイズ

▶賞

- 最優秀賞 1点/賞金50,000円・副賞(ペア宿泊券・地元産品など)
- 優秀賞 3点/賞金20,000円・副賞
- 入選 5点/賞金5,000円・副賞

富士フィルムイメージングシステムズ賞・ニコンイメージングジャパン賞

※地元企業からのご協力により、宿泊券や体験券、食事券、地元産品などの副賞が多数あります。



第6回最優秀賞「黄金の湖」撮影／酒井盛興さん (原画はカラー)

あなたの写真がフレーム切手になるかも？

昨年、阿寒国立公園指定80周年を記念して作成されたフレーム切手に、同協会のフォトコンテストの入選作品が採用されました。今後も計画ですので、あなたの写真が切手になるチャンスです！

応募要項などは観光情報ポータルサイト「弟子屈なび」をチェックするか、下記までお問い合わせください。

☐応募問い合わせ先／(一社)摩周湖観光協会フォトコンテスト係 ☎482-2200 メール masyu_as@peace.ocn.ne.jp

アイヌの自然 視 雪話あれこれ

ウパシ



今年も雪の季節

アイヌ語では、雪のことを「ウパシ」といいます。単語のようですが、ウ(互い)+パシ(走る)という2つの言葉が繋がっているそうです。雪は天から競走してやって来るものなのですね。そもそも雪とは、雪をつかさどる神(ウパシアツテカムイ)が、雪へらを使って振り落とすものとか。それに風の神(レラカムイ)が加勢すると、吹雪になるわけです。

今季は、そんなことを思いながら降雪を眺めてみてはいかがでしょうか。



調査対象のオオハクチョウ(昨年)

砂湯やコタンを中心にして、300羽近いオオハクチョウが冬を過ごしています。その中

EMC通信

～川湯の森から～

今年も、屈斜路湖に冬の使者・オオハクチョウがやってきました。毎年10月中旬に姿を見せ始め、翌年の4月を過ぎると北の方から戻り、何となくご存じかもしれませんが、具体的にはどの辺りだと思えますか？

知られざるオオハクチョウの生態

に、首や足にマークや発信機を装着している個体がいるかもしれません。専門の調査機関が、渡りの経路を調べるために装着したものです。その結果、シベリアを基点にサハリンを経由して往復していることが分かってきました。片道約3千キロ、移動に2週間以上を費やす大飛行です。成鳥では体重10kgにもなり、長距離移動する鳥としては最大級。体力に見合っていると思いきや、これだけの体重を抱えて飛び立つときは助走をつけ、大空を舞うときはV字編隊を組んで少しでも空気抵抗を抑えるなど、なかなか苦勞も多いようです。甲高い声での鳴き交わしも多く、観察しやすい鳥ですから、ぜひ一度、じっくりご覧になってみてください。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100 URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/
12月は9:00～16:00開館(毎週水曜日(祝日の場合は翌日)休館・12/29(火)～1/3(日)年末年始休館)